

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業			
	地域医療・福祉・介護、教育	◎	観光・交流			
	地域コミュニティ・集落再生		環境			
	地域交通・情報通信		まちづくり	○		
ふりがな	ふじおか しんじ					
氏名	藤岡 慎二					
所属	名称	(株)Prima Pinguino				
所属	役職	代表取締役				
連絡	住所 (職場)	〒 - -				
	連絡先	e-mail	fujioka[アットマーク]pripin.co.jp			
		TEL -	FAX -			
略歴	<p>1975年生まれ、慶應義塾大学政策・メディア研究科を修了(政策・メディア修士)、2006年に株式会社 Prima Pinguino を設立、教育事業を中心に事業を拡大する。2009年から島根県立隠岐島前高校魅力化プロジェクトに参画、同校のV字回復に貢献する。その後、高校魅力化プロジェクトを全国に展開し、北海道から沖縄まで離島中山間地域における60校以上の高校魅力化プロジェクトの支援を実施している。現在では教育を通じた地域の活性化を目指して、高校のみならず小中、大学魅力化プロジェクトや起業家教育、STEAM教育にも取り組んでおり、連携先は基礎自治体のみならず都道府県、省庁、教育系民間企業、大学まで幅広い。金沢市在住。</p> <p>産業能率大学経営学部教授(2020年～) 北陸大学経済経営学部教授(2017年～2020年) 専攻：地域活性化(地域経済政策、リバースイノベーション、人材育成、地域経営) 経営戦略、組織戦略、起業家育成、リーダーシップ、ソーシャルイノベーション 総務省地域力創造アドバイザー(2015年～) 内閣府地域活性化伝道師(2022年～) 株式会社 Prima Pinguino 代表取締役(2006年～) OECD日本イノベーション教育ネットワーク連携研究員(2017年～) 福井県高校問題協議会会長(2019年～2020年) 愛媛県県立学校振興計画検討委員(2020年～2023年) 軽井沢高等学校魅力化検討委員会(2019年～2020年) 青森県教育改革有識者会議(2023年～) 文科省・東京都庁の各種委員など</p>					



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

著作・論文等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 藤岡慎二(2023)「地方からの産業振興による逆転の地方創生 サン=セバスティアンの食の総合大学 BCC にみる 地域活性化人材を育成する方策」『月刊事業構想』,令和4年7月1日発行 2023年8月号.(論文) 2. 藤岡慎二(2023)「地方からの産業振興による逆転の地方創生サン=セバスティアン市の LABe 食を核にイノベーション創出を目指す」『月刊事業構想』,令和4年6月1日発行 2023年7月号.(論文) 3. 藤岡慎二(2023)「地方からの産業振興による逆転の地方創生リバース・イノベーションによる地域の経済・産業振興への挑戦課題先進地から生まれる革新」『月刊事業構想』,令和4年5月1日発行 2023年6月号.(論文) 4. 藤岡慎二(2022)「都市部一極集中を乗り越える逆転の地方創生」『月刊ガバナンス』,令和4年10月 2022年10月号.(論文) 5. 藤岡慎二(2021)「探究学習の社会的意義～イノベーション促進の観点から～」『教育学術新聞』,令和3年8月4日第2850号.(新聞投稿記事) 6. 藤岡慎二(2019)「教育を核とした地域の活性化と全国に拡大する高校魅力化プロジェクト—高校魅力化プロジェクトは統廃合回避から地域の担い手育成、関係人口増加施策へ—」『調査研究情報誌 ECPR』,43(1),pp.3-10.(論文) 7. 藤岡慎二(2017)「離島・中山間で進む教育改革～高校魅力化プロジェクトから見る高大接続改革と進路指導～」『主体的学び(2017年別冊)』,主体的学び研究所.(書籍) 8. 藤岡慎二(2017)「いま、なぜ高校魅力化なのか～高校魅力化は地域活性化と移住定住の要～」『季刊しま』,248号,62(3),公益財団法人日本離島センター.(雑誌投稿記事) 9. 藤岡慎二(2017)「グローカル人材を如何に育むか<下>」『教育学術新聞』,平成29年3月8日第2678号.(新聞投稿記事) 10. 藤岡慎二(2017)「グローカル人材を如何に育むか<上>」『教育学術新聞』,平成28年11月16日第2676号.(新聞投稿記事) 11. 藤岡慎二(2016)「辺境で進む教育改革～高校魅力化プロジェクトと地域課題発見解決型キャリア教育による学習意欲と学力向上、高大接続改革への取り組み～」『アクティブラーニング実践Ⅱ』,産業能率大学出版部.(書籍) 12. 藤岡慎二(2016)「高校の魅力化がまち全体の活性化を促進する」『地域人』,第14号,大正大学地域構想研究所.(雑誌投稿記事) 13. 藤岡慎二(2016)「高校魅力化プロジェクトで生徒増へ—地域おこし協力隊による町営塾運営」『地域づくり』,6月号,一般社団法人地域活性化センター.(雑誌投稿記事) 14. 藤岡慎二(2016)「『高校魅力化プロジェクト』が示す学びの場が魅力的になることの意味」『キャリアガイダンス』,415.(雑誌投稿記事)
--------	---

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	15. 藤岡慎二(2016)「【特別寄稿】離島中山間・地方で進む教育改革-隠岐・島前高校の魅力化プロジェクト-」『教育学術新聞』平成28年1月1日第2630号。(新聞投稿記事)
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み統廃合の危機にある公立高校に対して高校魅力化プロジェクト(公営塾・地域と連携した学びの充実とカリキュラム改革・教育寮の設置、全国募集など)を通じて、高校の存続のみならず地域を担う人材や起業家育成を実施。 ・移住定住の鍵となる教育環境の充実を小中学校魅力化プロジェクト(公営塾・地域と連携した学びの充実とカリキュラム改革・教育支援センター支援など)で実施。 ・定員割れや学生数の減少で経営難の地方小規模大学における大学魅力化プロジェクト支援。 ・地域でしごとを創る小中高校生向け起業家育成プログラムの企画・実施 ・地域を担うデジタル人材育成、DX人材育成プログラムの企画・実施
メッセージ	近年、教育は地域活性化の要の一つであると認識されつつあります。教育に力を入れない自治体から力を入れる自治体に子育て世代は移動しますし、移住定住します。その動きは年々顕著になります。首長も子育て・教育施策を打ち出す一方、現場のリソースだけでは実現が難しい現実があります。私たちは教育を通じた地域活性化のお手伝いを、アドバイザーとしてだけではなく、実施までお手伝いします。気になった方はご連絡ください。
関連ホームページ	https://pripin.co.jp/ https://miryokuka.com/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。